

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成28年10月6日

①学校名:	関東学院 大学	②所在地:	神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-50-1		
③課程名:	材料・表面技術マイスタープログラム	④正規課程／履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	2017/4/1
⑥責任者:	材料・表面工学研究所長 高井 治	⑦定員:	12名程度	⑧期間:	1年間
⑨申請する課程の目的・概要:	材料・表面工学におけるエンジニアやエキスパートの育成を目指したプログラムである。本プログラムでは、めっき分野をベースにした表面処理の先端技術および新素材の研究開発などの先端技術を学習し、実務と関連する研究開発を行いながら、産業界で活躍できる人材を育成する。				
⑩4テーマへの該当の有無	中小企業活性化 女性活躍	⑪履修資格:	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育法第90条に規定する大学に入学することができる者または実務経験などが上記と同等レベルと認定された者。 ・めっき関連産業界に従事する者。 ・材料関連産業界に従事する者。 		
⑫対象とする職業の種類:	材料開発担当者、表面処理技術やノウハウの習得希望者				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・めっき法を中心とした表面処理技術		(得られる能力) ・材料の分析技術 ・表面処理のノウハウ ・材料の特性や応用		
⑭教育課程:	「新めっき技術」<必須>及び「材料・表面工学」<必須>などを学ぶことにより、材料の特性や応用を理解し、その材料に表面処理を施すことで、機能性を付与することなどの知識を習得する。「無電解めっき実習と応用」<選択必須>、「電気めっき実習と応用」<選択必須>、「貴金属めっき実習と応用」<自由選択>などは、様々な材料に表面処理を施した後、めっき実習を行うことで、その違いや特性を理解しながら技術を習得する。「表面処理のノウハウ」<自由選択>では、必須や選択必須科目で学んだことを実際に応用できる技術・知識などを学習する。「IoTを支える材料・表面処理技術」<自由選択>は、材料を選び最適な条件で表面処理ができるエキスパートになるために、実際どのような分野への応用が可能であるか、さらに今後、どのような分野に活かせることができるかなどを学習する。				
⑮修了要件(修了授業時数等):	授業時間数:120時間以上、且つ中間・最終報告書及び審査の合格				
⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書、及び材料・表面技術マイスター				
⑰総授業時数:	151 時間	⑱要件該当授業時数:	151時間	⑲要件該当授業時数 該当要件 企業等双方 方向実務 家実地	⑲要件該当授業時数 ／総授業時数: 100%
⑳成績評価の方法:	出席状況、筆記試験、プレゼンテーション内容、実技試験などを総合的に判断する				
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。「評価委員会」において、本プログラムの成果の検証や評価を行う。				
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	大学側と企業側の両機関の関係者が参加する公開報告会を通して、修了者が、実務に適用できる事例やアイデアなどのプレゼンテーションによる報告及び討論を行うことで、その効果を検証する。				
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 教員及び企業管理者により組織する評価委員会において、協議・評価することにより教育課程の編成に企業などの意見を取り入れる。 (自己点検・評価) 担当教員と企業の管理者以外にも修了者も含むワーキンググループを組成して協議を行う。ワーキンググループでの協議結果を踏まえ、評価委員会にて自己点検・評価を行い、企業側の意見を反映させる。				
㉔社会人が受講しやすい工夫:	短期集中講義、IT活用(オンライン受講)、課題の提出、(教員の)出張講義				
㉕ホームページ:	(URL) http://mscenter.kanto-gakuin.ac.jp/				

事務担当者名:	結城 豊彦	所属部署:	社会連携センター
連絡先:	(電話番号)045-786-7892 (E-mail)tyuki@kanto-gakuin.ac.jp		

*パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。